

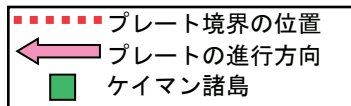
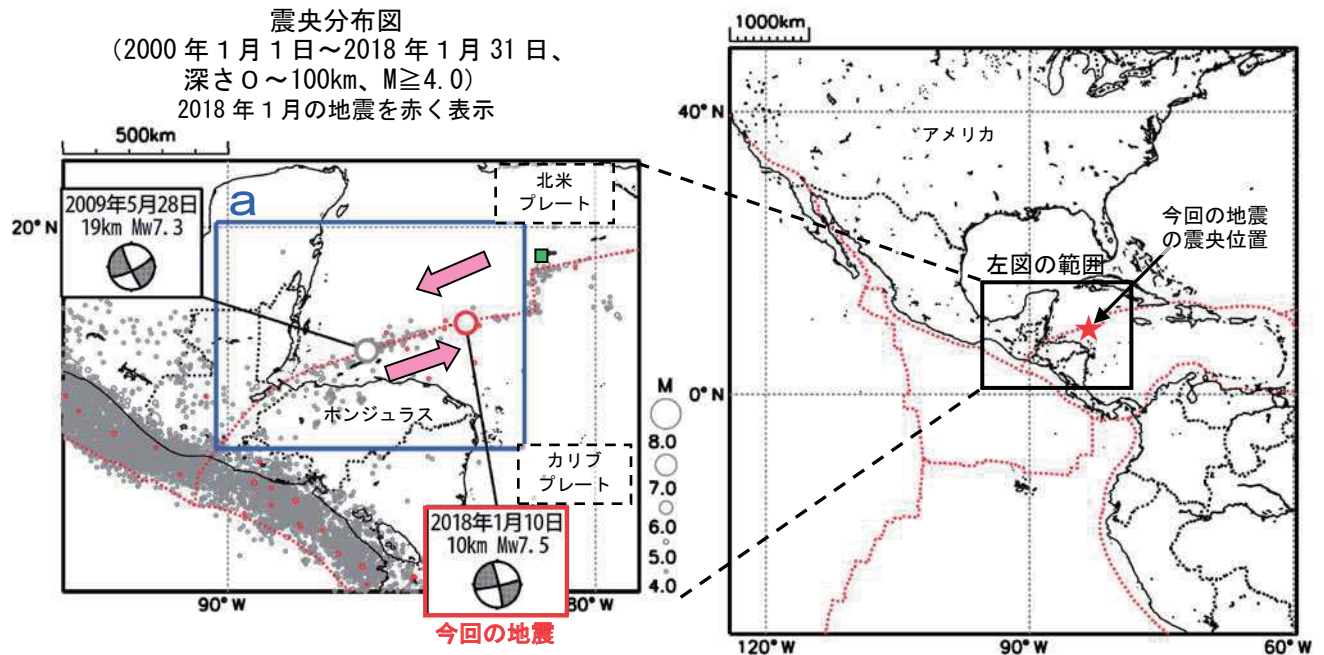
1月10日 ホンジュラス北方の地震

2018年1月10日11時51分(日本時間、以下同じ)にホンジュラス北方の深さ10kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界で発生した。

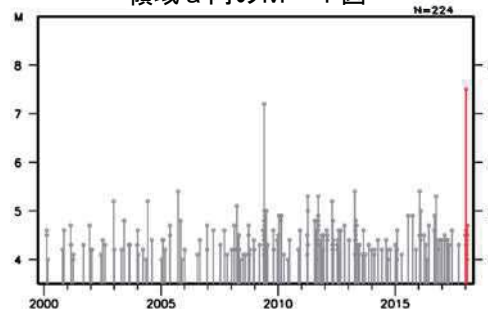
気象庁は、この地震に対して、同日12時18分に遠地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりケイマン諸島(イギリス領)で26cmの津波を観測した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)で、2009年5月28日に発生したMw7.3の地震では、死者7人等の被害が生じている。

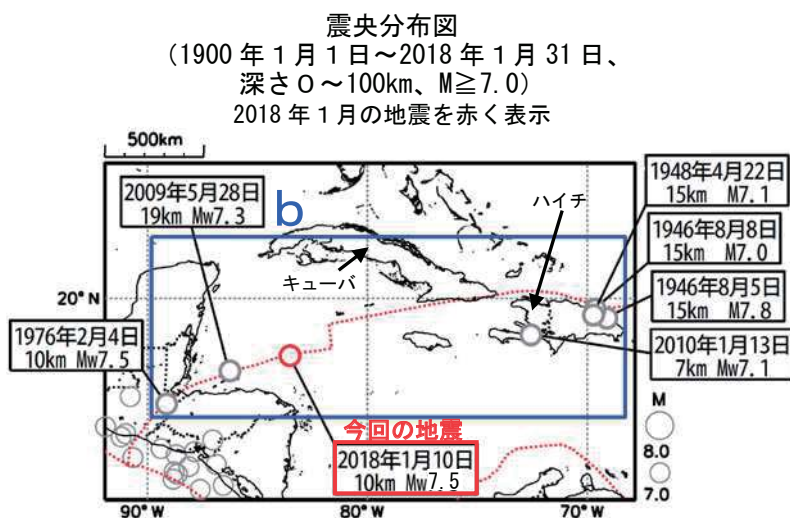
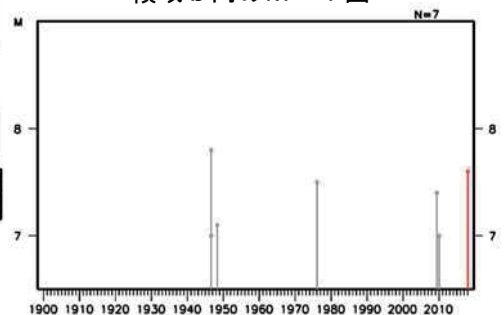
1900年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生し、周辺で被害をもたらしている。1976年2月4日のMw7.5の地震では、グアテマラで死者2万人以上の被害が生じた。また、2010年1月13日のMw7.1の地震では、ハイチで死者30万人以上の被害が生じた。



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※本資料中、(上図) 今回の地震と2009年5月28日の地震の発震機構とMwは気象庁、震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年1月31日現在)。(下図) 今回の地震と2009年5月28日の地震、2010年1月13日の地震のMwは気象庁、1900年~2013年の震源要素は国際地震センター(ISC/GEM)、2014年以降の震源要素はUSGSによる。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.